

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-079306

(43)Date of publication of application : 20.03.1995

(51)Int.Cl.

H04N 1/00

H04N 1/32

(21)Application number : 05-246262

(71)Applicant : RICOH CO LTD

(22)Date of filing : 07.09.1993

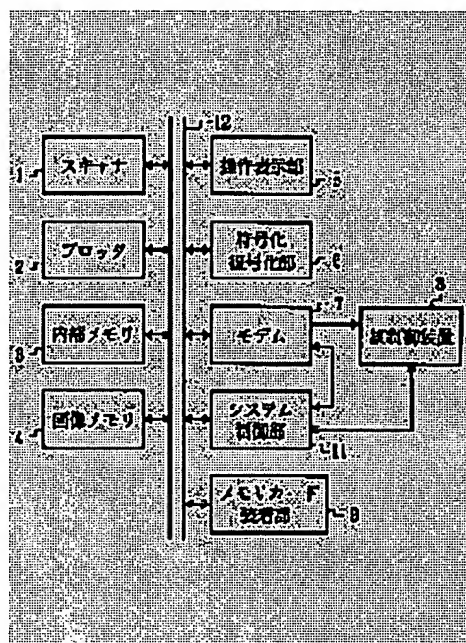
(72)Inventor : ISHIKAWA NAOKO

(54) PARAMETER SETTING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the parameter setting device by which user setting information such as information relating to setting of function keys, user parameters and internal switches is easily set.

CONSTITUTION: When the parameter setting device is applied to, e.g. a facsimile equipment, the user setting information such as information relating to setting of function keys, user parameters and internal switches is stored in an internal memory 3 corresponding to each user number decided for individual persons and for departments. When a user number or the like is entered from an operation display section 5, a system control section 11 retrieves the user setting information corresponding to the entered user number from the internal memory 3 and stores the information to a parameter setting area of a RAM of the system control section 11 as the parameter. The state of the facsimile equipment is kept according to the stored parameter and various functions are executed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 13.07.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 13.08.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-79306

(43) 公開日 平成7年(1995)3月20日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00	D			
1/32	G	7232-5C		

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平5-246262

(22) 出願日 平成5年(1993)9月7日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 石川 奈穂子

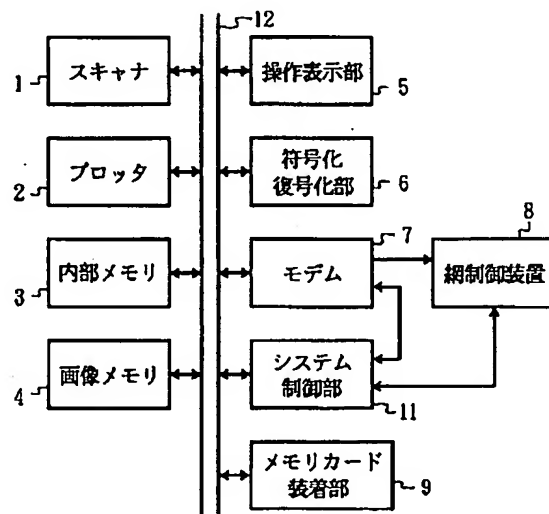
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 パラメータ設定装置

(57) 【要約】

【目的】 ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を容易に設定することが可能なパラメータ設定装置を提供する。

【構成】 パラメータ設定装置が例えばファクシミリ装置に適用された場合、個人や部門毎に決められた各ユーザ番号に対応して、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を内部メモリ3に記憶する。そして、操作表示部5からユーザ番号等が入力されると、システム制御部11は、入力されたユーザ番号に対応するユーザ設定情報を内部メモリ3から検索し、パラメータとしてシステム制御部11のRAMのパラメータ設定領域に格納する。この格納されたパラメータに従ってファクシミリ装置の状態を維持し各種機能が実行される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 装置の状態や各種機能の設定状態等のパラメータを記憶するパラメータ記憶手段を有し、このパラメータ記憶手段に格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する装置において、個人や部門毎に決められた各ユーザ番号に対応して、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を記憶する内部メモリと、ユーザ番号等の情報を入力する入力手段と、この入力手段から入力されたユーザ番号に対応するユーザ設定情報を前記内部メモリから検索する検索手段と、この検索手段で検索されたユーザ設定情報をパラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する格納手段とを具備することを特徴とするパラメータ設定装置。

【請求項2】 ユーザ設定情報選択キーと、このユーザ設定情報選択キーの押下を検出し、前記内部メモリに記憶されているユーザ情報から、個人や部門毎に定められたユーザ識別子の全てを読み出して表示する表示手段とを備え、前記格納手段は、この表示手段に表示されたいずれかのユーザ識別子が前記入力手段から入力された場合に、そのユーザ識別子に対応するユーザ設定情報をパラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納することを特徴とする請求項1記載のパラメータ設定装置。

【請求項3】 ユーザ設定キーと、このユーザ設定キーの押下を検出し、前記パラメータ記憶手段に記憶されているパラメータを、前記入力手段から入力されたユーザ番号およびユーザ識別子の少なくとも一方と共に、ユーザ設定情報として前記内部メモリに登録する登録手段とを具備することを特徴とする請求項1または請求項2記載のパラメータ設定装置。

【請求項4】 装置の状態や各種機能の設定状態等のパラメータを記憶するパラメータ記憶手段を有し、このパラメータ記憶手段に格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する装置において、メモリカードを装着する装着手段と、この装着手段にメモリカードが装置されたことを検出し、このメモリカードに格納されているファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を、パラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する格納手段とを具備することを特徴とするパラメータ設定装置。

【請求項5】 ユーザ設定キーと、このユーザ設定キーの押下を検出し、前記パラメータ記憶手段に記憶されているパラメータを、前記装着手段に装着されたメモリカードに登録する登録手段とを具備することを特徴とする請求項4記載のパラメータ設定装置。

【請求項6】 装置の状態や各種機能の設定状態等のパラメータを記憶するパラメータ記憶手段を有し、このパ

ラメータ記憶手段に格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する装置において、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報が記載されたマークシートを読み取るマークシート読取手段と、

このマークシート読取手段で読み取られたユーザ設定情報を、パラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する格納手段と、

ユーザ設定キーと、

このユーザ設定キーの押下を検出し、前記パラメータ記憶手段に記憶されているパラメータを、マークシートに記録する記録手段とを具備することを特徴とするパラメータ設定装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はパラメータ設定装置に係り、詳細には、設定されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する、ファクシミリ装置や複写機等の各種装置におけるパラメータ設定装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 例えば、ファクシミリ装置や複写機等のOA機器では、単に画像データを送信したり、複写したりするだけでなく、各種の機能が付加され、また各種状態の設定が可能になっている。例えば、ファクシミリ装置であれば、電話番号、短縮キー、ワンタッチキー等を登録したり、予め設定された複数の相手にデータを送信したり、所定の設定時間にデータを送信したり、送信相手先の操作によって送信（ポーリング送信）したり、受信内容をメモリに格納し液晶表示された内容を確認出来るようにし出力指示があった場合にのみ出力したり、各種の機能および状態設定が可能になっている。また、複写機の場合、例えば、複数枚複写、左右反転複写、両面複写等各種の機能を備えている。ファクシミリ装置や複写機といった各OA機器等における、このような各種の機能や状態の設定は、各機能や処理に対応したパラメータを設定することで行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、これらのパラメータ前提は、操作者が必要な処理に応じて予め設定を行い、または、各送信毎に個別に設定する必要があるため、その設定に時間を要していた。特に、複数の操作者や、複数の部門毎に異なる形態（パラメータ設定状態）で使用される場合、常にパラメータの設定状態を確認し、異なったパラメータが設定されていれば、その都度変更する必要がある、誤入力の原因ともなっていた。

【0004】 そこで、パラメータの設定を容易にしたファクシミリ装置として、特開昭62-81162号公報に記載された技術が提案されている。このファクシミリ装置は、予め設定する必要のある定数等の装置パラメー

タを、予め定められたフォーマットのマークシートに記入し、これをファクシミリ装置の原稿読取部によって読取り、画像メモリに蓄積した後、制御部がこれを読出し、解析してパラメータメモリに記憶するものであり、パラメータを誤りなく容易に設定することが可能となる。しかし、各操作者はマークシートをその都度作成するか、または、作成済のマークシートを常時保管する必要がある、不便であった。また、マークシートの読み取り操作と、読み取りのための時間が必要であった。また、このファクシミリ装置では、マークシートを読み取ってパラメータメモリに記憶することは可能であるが、既に設定されているパラメータをマークシートに出力することはできなかった。このため、既に設定されているパラメータを他の操作者が別の機会に使用したい場合でも、改めてマークシートを作成する必要があった。

【0005】一方、入力を容易にするために、ユーザ番号の入力やメモリカードによる装置パラメータの設定が可能な装置もあったが、設定可能なパラメータとしては、電話番号、短縮キー、ワンタッチキーに関する装置パラメータのみであり、各種機能キー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等の装置パラメータについては、設定できなかった。

【0006】そこで本発明はこれらの課題を解決するためになされたもので、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を容易に設定することが可能なパラメータ設定装置を提供することを第1の目的とする。また本発明は、現在設定されているユーザ設定情報をマークシートに出力することが可能なパラメータ設定装置を提供することを第2の目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明では、装置の状態や各種機能の設定状態等のパラメータを記憶するパラメータ記憶手段を有し、このパラメータ記憶手段に格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する装置において、個人や部門毎に決められた各ユーザ番号に対応して、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を記憶する内部メモリと、ユーザ番号等の情報を入力する入力手段と、この入力手段から入力されたユーザ番号に対応するユーザ設定情報を前記内部メモリから検索する検索手段と、この検索手段で検索されたユーザ設定情報をパラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する格納手段とをパラメータ設定装置に具備させて、前記第1の目的を達成する。請求項2記載の発明では、請求項1記載のパラメータ設定装置において、ユーザ設定情報選択キーと、このユーザ設定情報選択キーの押下を検出し、前記内部メモリに記憶されているユーザ情報から、個人や部門毎に定められたユーザ識別子の全てを読み出して表示する表示手段とを備え、前記格納手段は、

この表示手段に表示されたいずれかのユーザ識別子が前記入力手段から入力された場合に、そのユーザ識別子に対応するユーザ設定情報をパラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する。請求項3記載の発明では、請求項1または請求項2記載のパラメータ設定装置において、ユーザ設定キーと、このユーザ設定キーの押下を検出し、前記パラメータ記憶手段に記憶されているパラメータを、前記入力手段から入力されたユーザ番号およびユーザ識別子の少なくとも一方と共に、ユーザ設定情報として前記内部メモリに登録する登録手段とを、さらに具備させる。

【0008】請求項4記載の発明では、装置の状態や各種機能の設定状態等のパラメータを記憶するパラメータ記憶手段を有し、このパラメータ記憶手段に格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する装置において、メモリカードを装着する装着手段と、この装着手段にメモリカードが装置されたことを検出し、このメモリカードに格納されているファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を、パラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する格納手段とを、パラメータ設定装置に具備させて、前記第1の目的を達成する。請求項5記載の発明では、請求項4記載のパラメータ設定装置において、ユーザ設定キーと、このユーザ設定キーの押下を検出し、前記パラメータ記憶手段に記憶されているパラメータを、前記装着手段に装着されたメモリカードに登録する登録手段とを、さらに具備させる。

【0009】請求項6記載の発明では、装置の状態や各種機能の設定状態等のパラメータを記憶するパラメータ記憶手段を有し、このパラメータ記憶手段に格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能を実行する装置において、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報が記載されたマークシートを読み取るマークシート読取手段と、このマークシート読取手段で読み取られたユーザ設定情報を、パラメータとして前記パラメータ記憶手段に格納する格納手段と、ユーザ設定キーと、このユーザ設定キーの押下を検出し、前記パラメータ記憶手段に記憶されているパラメータを、マークシートに記録する記録手段とを、パラメータ設定装置に具備させて、前記第2の目的を達成する。

【0010】

【作用】請求項1記載のパラメータ設定装置では、個人や部門毎に決められた各ユーザ番号に対応して、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報を内部メモリに記憶する。そして、入力手段からユーザ番号等が入力されると、入力されたユーザ番号に対応するユーザ設定情報を内部メモリから検索し、パラメータとしてパラメータ記憶手段に格納する。この格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し

各種機能が実行される。請求項4記載のパラメータ設定装置では、装着手段に装着されたメモリカードから、各種ユーザ設定情報を読み出し、パラメータとしてパラメータ記憶手段に格納する。この格納されたパラメータに従って装置の状態を維持し各種機能が実行される。請求項6記載のパラメータ設定装置では、マークシートに記載された各種ユーザ設定情報を読み取って、パラメータとしてパラメータ記憶手段に格納すると共に、パラメータ記憶手段に格納されているパラメータをマークシートに記録する。

【0011】

【実施例】以下本発明のパラメータ設定装置における好適な実施例について、図1から図9を参照して詳細に説明する。図1はパラメータ設定装置を適用したファクシミリ装置の構成をブロックで表したものである。このファクシミリ装置は、スキャナ1、プロッタ2、内部メモリ3、画像メモリ4、操作表示部5、符号化復号部6、モデム7、メモリカード装着部9、及びシステム制御部11を備えており、それぞれは、データバス等のバスライン12で接続されている。また、ファクシミリ装置は、網制御装置8を備えており、この網制御装置8はモデム7とシステム制御部11とに接続されている。システム制御部11はモデム7と接続されている。

【0012】スキャナ1は、CCD (Charge Coupled Device) 等により画像を読み取るようになっている。このスキャナ1は、マークシート読取手段の一部として機能するようになっている。プロッタ2は、読み取った画像を記録紙に記録したり様々なレポートを記録し出力するようになっている。このプロッタ2は、パラメータをマークシートに記録する記録手段の一部として機能する。内部メモリ3は、ユーザ番号、ユーザ識別子等のユーザ設定情報等のデータや送信相手先のRTI等の情報やその他の制御に必要なパラメータ等を記憶するようになっている。画像メモリ4は、スキャナ1で読み取った画情報や通信により受信した画情報を圧縮した状態で記憶するようになっている。操作表示部5は、配設された表示器やユーザ設定キー、ユーザ設定情報選択キー等の操作キーにより装置の動作状態を表示する一方、オペレータが各種操作を行うようになっている。この操作表示部5は、ユーザ番号等の情報を入力する入力手段として機能すると共に、ユーザ識別子の全てを読み出して表示する表示手段の一部としても機能する。

【0013】符号化復号部6は、既知の符号化方式により送信する画情報をデータ圧縮する一方、受信した画像を復号化して元の画像に再生するようになっている。モデム7は、画情報を変復調して伝送する共に、伝送制御のための各種手順信号を伝送するようになっている。網制御装置8は、電話回線に接続され、発着信の際に所定の回線制御を行うようになっている。メモリカード装着部9には、メモリカードが装着される。

【0014】システム制御部11は、上記各部を制御するCPU (中央処理装置)、ROM (リード・オンリ・メモリ)、RAM (ランダム・アクセス・メモリ) 等を備えており、RAMの所定領域をワーキングエリアとして使用し、ROMに格納された各種プログラムを実行することによって、ファクシミリ装置としての各種機能を実行する。システム制御部11におけるRAMのパラメータ設定領域を備えており、パラメータ記憶手段として機能するようになっている。また、システム制御部11は、検索手段、格納手段、登録手段の一部、表示手段の一部、マークシート読取手段の一部として機能するようになっている。

【0015】次に、本実施例のパラメータ設定装置が適用されたファクシミリ装置の動作を図2から図9を参照しながら説明する。まず、第1の実施例について説明する。この第1の実施例は、入力されたユーザ番号に対応するユーザ設定情報を内部メモリ3から読み出し、これをパラメータとしてシステム制御部11のRAMに格納するものである。

【0016】図2は、内部メモリ3に記憶されるユーザ設定情報の構成を表したものである。この図2に示すように、ユーザ設定情報は、2バイトのユーザ番号、20バイトのファンクションキー情報、4バイトのユーザパラメータ情報及び16バイトの内部スイッチ情報から構成されている。ユーザ番号は、2バイトで4桁の数字で示され、同時に2個以上の同じユーザ番号は存在しない。従って、ユーザ番号は、0000～9999までの10000通りのユーザ番号を使用できるようになっている。ファンクションキー情報は、予め機能毎に設定されている機能コードを16進数を用いて20ファンクションキー分記憶されるようになっている。ユーザパラメータ情報は、予めビット毎にパラメータ項目を対応させ、ビットが0ならばその項目は無しとし、1ならば有りとして、32項目分記憶されるようになっている。なお、ユーザ設定情報は、内部メモリ3に記憶されるため、メモリ容量によって使用できるユーザ番号の数が制限される。

【0017】図3は内部スイッチの構成を示したものである。内部スイッチ情報は、図3に示すように、ユーザパラメータ情報と同様にビット毎にスイッチ項目を対応させ、0ならば無し、1ならば有りとして、128スイッチ項目分記憶されるようになっている。

【0018】図4は第1の実施例における具体的動作を表したものである。まず、操作者がモードを変更するために操作表示部5に配設された所定の操作キー (図示せず) を押下すると、システム制御部11は、設定変更モードに入る (ステップ1)。設定変更モードに入った後、操作者が操作表示部5からユーザ番号を入力すると (ステップ2)、システム制御部11は、入力されたユーザ番号を検索キーとして、内部メモリ3内に記憶され

たユーザ番号を検索し（ステップ3）、入力されたユーザ番号が内部メモリ3に存在するか否かを判断する（ステップ4）。入力されたユーザ番号が内部メモリ3に存在すれば（ステップ4；Y）、システム制御部11は、RAMのパラメータ設定領域の内容を、内部メモリ3から検索したユーザ設定情報に書き換え（ステップ5）、システムを再起動する（ステップ6）。ステップ4において、入力されたユーザ番号が内部メモリ3に存在しなければ（ステップ4；N）、システム制御部11は、RAMのパラメータ設定領域を現在の設定のままにして、変更モードを終了する。（ステップ7）。

【0019】次に第2の実施例について説明する。図5は、この第2の実施例において、内部メモリ3に記憶されるユーザ設定情報の構成を表したものである。この図5に示すように、ユーザ設定情報は、20バイトのユーザ識別子と、20バイトのファンクションキー情報と、4バイトのユーザパラメータ情報と、16バイトの内部スイッチ情報とから構成されている。なお、ユーザ識別子は、20バイトのASCIIコードあるいはJISコード等で表される設定者等の名称データであり、同時に2個以上の同じユーザ識別子は存在しない。

【0020】図6は第2の実施例の動作を表したものである。まず、操作者が操作表示部5に設けられたユーザ設定情報選択キー（図示せず）を押下すると（ステップ1a）、システム制御部11は、内部メモリ3内の全てのユーザ識別子を読み出し、操作表示部5に表示する（ステップ2a）。操作者が操作表示部5に表示された全てのユーザ識別子から設定したい識別子を選択する（ステップ3a）と、システム制御部11は、入力されたユーザ識別子に対応するユーザ設定情報を内部メモリ3から読み込み、RAMのパラメータ設定領域の内容を書き換え（ステップ4a）、再びシステムを起動する（ステップ5a）。

【0021】次に第3の実施例について説明する。この第3の実施例では、システム制御部11のRAMのパラメータ設定領域に格納されているパラメータを、ユーザ設定情報として、ユーザ番号またはユーザ識別子と共に新規に内部メモリ3に登録するものである。図7は、第3の実施例の動作を表したものである。まず、操作者が操作表示部5に設けられたユーザ設定キー（図示せず）を押下すると（ステップ1b）、システム制御部11は、操作表示部5にユーザ番号、またはユーザ識別子の入力要求を表示させる。操作者が新しいユーザ番号、またはユーザ識別子を表示操作部3から入力すると（ステップ2b）、システム制御部11は、入力されたユーザ番号が内部メモリ3内に存在するか否かを判断する（ステップ3b）。入力されたユーザ番号等が内部メモリ3内に存在する場合（ステップ3b；Y）、そのまま登録を行うと重複登録となるので、システム制御部11は、ステップ2bに戻って同様な処理を行う。入力されたユ

ーザ番号等が内部メモリ3内に存在しない場合には（ステップ3b；N）、システム制御部11は、システム制御部11のRAMのパラメータ設定領域からパラメータを読み出し、これをユーザ設定情報として、入力されたユーザ番号等と共に内部メモリ3に書き込む（ステップ4b）。

【0022】次に第4の実施例について説明する。この第4の実施例では、メモリカードに格納されたユーザ設定情報を、RAMのパラメータ設定領域に格納し、また、その逆の処理を行うものである。図8は第4の実施例の動作を表したものである。まず、操作者がメモリカードをメモリカード装着部9に差し込むと（ステップ1c）、システム制御部11は、メモリカードにユーザ設定情報があるか否かを判断する（ステップ2c）。メモリカードにユーザ設定情報がある場合（ステップ2c；Y）、システム制御部11は、メモリカード内のユーザ設定情報内のユーザ識別子を全て操作表示部5に表示する（ステップ3c）。その後、操作者が設定したいユーザ識別子を選択すると（ステップ4c）、システム制御部11は、選択されたユーザ識別子のユーザ設定情報をメモリカードから読み込み、RAMのパラメータ設定領域の内容を書き換え（ステップ5c）、再びシステムを起動する（ステップ6a）。

【0023】ステップ2cにおいて、メモリカードにユーザ設定情報がなければ（ステップ2c；N）、システム制御部11は、RAMのパラメータ設定領域を現在の設定のままにして、変更処理を終了させる（ステップ7c）。上述のように、ユーザ識別子とユーザ設定情報はセットで記憶されるため、メモリカードの容量によって使用できるユーザ識別子の数を制限することができる。

【0024】また、システム制御部11のRAMのパラメータ設定領域に格納されているパラメータを、ユーザ設定情報として、ユーザ番号またはユーザ識別子とともに新規にメモリカードに登録する。この動作については、登録する媒体が内部メモリ3ではなく、メモリカードである点を除いて、第3の実施例と同様に行われる。

【0025】次に第5の実施例について説明する。この第5の実施例では、マークシートをスキャナ1で読み取り、記載された各種ユーザ設定情報をシステム制御部11で判断し、判断結果をRAMのパラメータ設定領域に格納する。また、表示操作部の図示しないユーザ設定キーが操作者に押下されると、システム制御部11は、RAMのパラメータ設定領域に格納されているパラメータを、プロッタ2によって、ユーザ設定情報としてマークシートに記録する。

【0026】ここで、ユーザ設定情報は、図9に示すように、20バイトのファンクションキー情報、4バイトのユーザパラメータ情報及び16バイトの内部スイッチ情報から構成されている。この第5の実施例では、マークシートには、ユーザ設定情報が複数組存在せず、1組

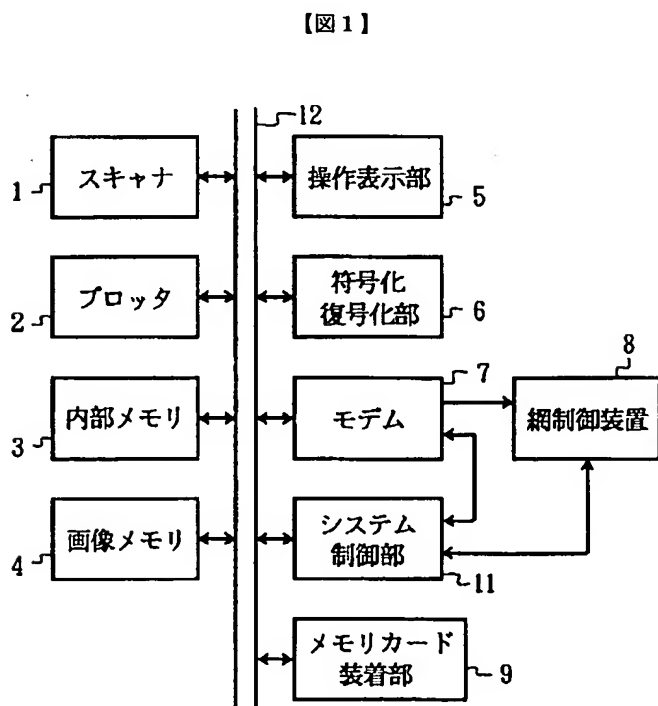
のユーザ設定情報のみが記録されるため、ユーザ番号やユーザ識別子等が必要なくなる。

【0027】

【発明の効果】請求項1記載のパラメータ設定装置によれば、1台のファクシミリ装置に多数の利用者がいても、ユーザ番号を入力するだけで、ファンクションキー、ユーザパラメータ、内部スイッチ等のユーザ設定情報の設定を簡易に変更でき、使い勝手が向上する。請求項2記載のパラメータ設定装置によれば、内部メモリに記憶されている識別子を表示し、それを選択することで、キー操作を簡易にし、入力ミスを軽減できる。請求項3記載のパラメータ設定装置によれば、簡易に自分の設定を内部メモリに登録しておくことができる。請求項4記載のパラメータ設定装置によれば、メモ리카ード内のユーザ設定情報を読み取ってパラメータメモリに設定できる。このため、同一機能を備えた装置、例えば、同機能を持つファクシミリ装置に共通して使用でき、使用範囲が広がる。請求項5記載のパラメータ設定装置によれば、メモ리카ードにユーザ設定情報を書き込むことができる。このため、ユーザが簡易に自分の設定をメモ리카ードに登録しておくことができる。請求項6記載のパラメータ設定装置によれば、ユーザ設定情報をマークシートに記録することができ、ユーザが簡易に自分の設定を登録しておくことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例におけるパラメータ設定装置を適用したファクシミリ装置の構成図である。



【図2】同上、第1の実施例におけるユーザ設定情報の構成図である。

【図3】同上、第1の実施例における内部スイッチ情報の構成図である。

【図4】同上、第1の実施例の動作を示すフローチャートである。

【図5】同上、第2の実施例におけるユーザ設定情報の構成図である。

【図6】同上、第2の実施例の動作を示すフローチャートである。

【図7】同上、第3の実施例の動作を示すフローチャートである。

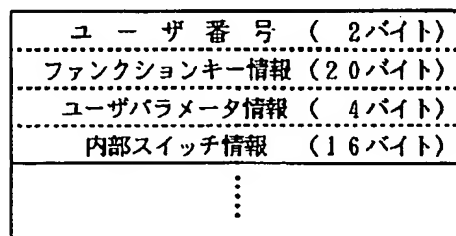
【図8】同上、第4の実施例の動作を示すフローチャートである。

【図9】同上、第5の実施例におけるユーザ設定情報の構成図である。

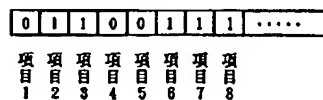
【符号の説明】

- 1 スキャナ
- 2 プロッタ
- 3 内部メモリ
- 4 画像メモリ
- 5 操作表示部
- 6 符号化復号部
- 7 モデム
- 8 網制御装置
- 9 メモ리카ード読書部
- 11 システム制御部

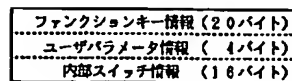
【図2】



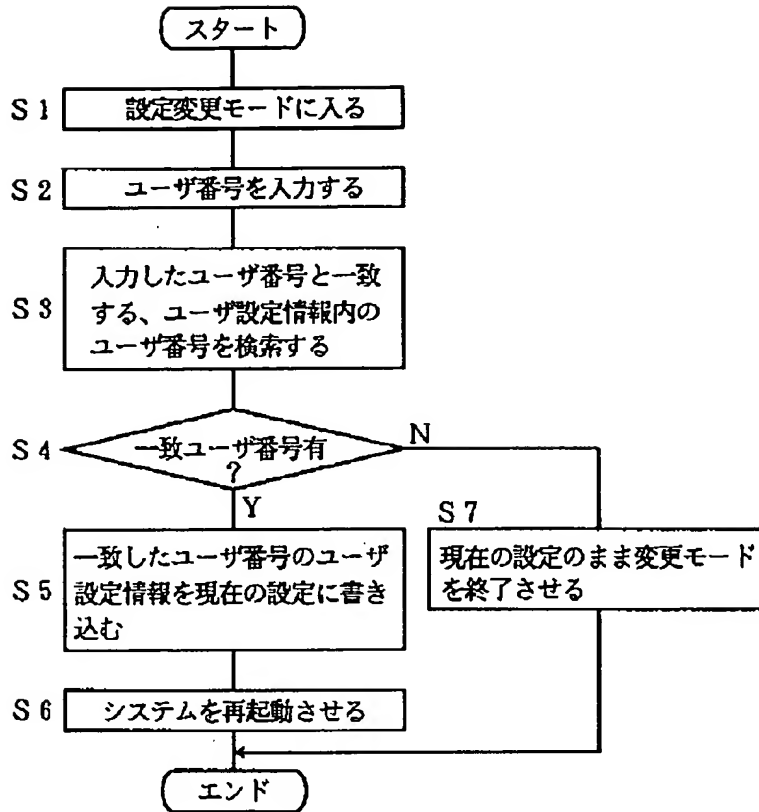
【図3】



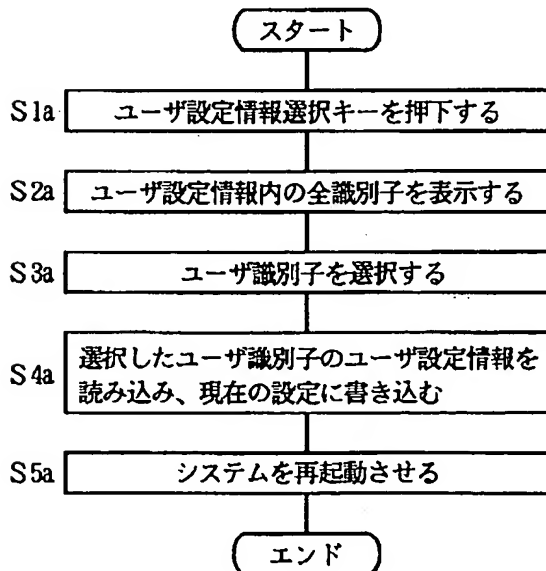
【図9】



【図4】



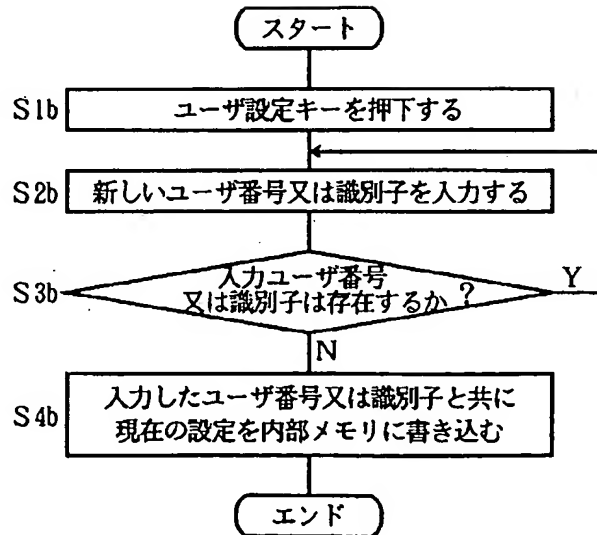
【図6】



【図5】

ユーザ識別子 (20バイト)
ファンクションキー情報 (20バイト)
ユーザパラメータ情報 (4バイト)
内部スイッチ情報 (16バイト)
...

【図7】



【図8】

